

僕は今でも君が好きだよ——
永野芽郁主演で映画化も決定、あの感動作が再びよみがえる！

メディアワークス文庫
『君は月夜に光り輝く +Fragments』

2月23日(土) 発売決定！

株式会社KADOKAWA(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:松原真樹)では、佐野徹夜による感動のラブストーリー、メディアワークス文庫『君は月夜に光り輝く』の第2弾となる『君は月夜に光り輝く +Fragments』を2月23日(土)に発売することが決定しましたので、お知らせいたします。

小説『君は月夜に光り輝く』は、大切な人の死から、少しでもなげやりに生きている高校生・岡田卓也(おかだたくや)と、月の光を浴びると体が淡く光る不治の病「発光病」にかかった余命わずかのクラスメイト・渡良瀬まみず(わたらせ まみず)との交流を描いたラブストーリーです。著者・佐野徹夜のデビュー作である本作は、日本最大級の小説公募新人賞「第23回電撃小説大賞」で審査員から高い評価を受け、《大賞》を受賞。審査員ほか、多くの作家から絶賛され、2017年2月の発売以来「圧倒的な感動作」として、幅広い世代に読まれているベストセラーです。2019年1月現在、『君は月夜に光り輝く』は発行部数30万部を突破しています。また、映画化やコミカライズなどのメディアミックス展開もされています。

『君は月夜に光り輝く +Fragments』では、前作『君は月夜に光り輝く』で語られなかったエピソードや、卓也をはじめ、卓也の友人・香山の「その後」が描かれます。人気クリエイター・loundraw(ラウンドロー)氏がイラストを担当。同氏による、繊細なイラストが物語に彩りを添えます。



↑ 『君は月夜に光り輝く +Fragments』
表紙

そして、小説『君は月夜に光り輝く』を原作とした映画『君は月夜に光り輝く』が3月15日(金)より劇場公開となります。永野芽郁(ながの めい)と北村匠海(きたむら たくみ)のW主演で、若手俳優陣の中でも抜群の演技力を持つ2人が、確実に迫りくる死に向き合いながらも「人生の質」を求めることを選択し、強く美しく生きる高校生を瑞々しく演じます。

2月には文庫の発売のほか、『君は月夜に光り輝く』のイラストを担当したloundraw氏の画集『夜明けより前の君へ featuring 君は月夜に光り輝く』が2月28日(木)に、「ダ・ヴィンチ」にて好評連載中のコミカライズ版『君は月夜に光り輝く』上巻が2月22日(金)に発売を予定しております。

“今を生きる”すべての人に届けたい感動のラブストーリー『君は月夜に光り輝く』の待望の続編、『君は月夜に光り輝く +Fragments』にご期待ください。

< 佐野徹夜氏 コメント >

物語が終わったあとも人生は続きます。そんな人生の一瞬の光を切り取ったような本になりました。登場人物たちのその後の人生に興味がある方は、ぜひ読んでみてください。よろしく願います。

『君は月夜に光り輝く +Fragments』 概要

【書名】君は月夜に光り輝く +Fragments
【著者】佐野徹夜 【イラスト】 loundraw
【定価】 本体610円＋税 【発売日】 2019年2月23日(土)
【ページ数】 240ページ 【ISBN】 978-4-04-912339-5
【レーベル】 メディアワークス文庫 【発行】 株式会社KADOKAWA

【内容】 僕は今でも君が好きだよ——映画化も決定、あの感動作が再びよみがえる！
不治の病「発光病」の少女・まみずと、彼女の願いを代行する卓也の感動ラブストーリー。
本編では語られなかったエピソードや、少しだけ大人になった香山と卓也の書き下ろし等、
「その後」を知ることができる待望の続編がついに登場。

■ 著者プロフィール

佐野徹夜 (さの てつや)

同志社大学文学部卒業。『君は月夜に光り輝く』で第23回電撃小説大賞《大賞》を受賞。メディアワークス文庫より刊行された同作は大ヒットを記録し、一躍、青春小説の旗手として注目される。愛と再生の感動ラブストーリー『この世界にいをこめて』、高校生たちのリアルな青春を描いた『アオハル・ポイント』(いずれもメディアワークス文庫)が好評発売中。

■ 『君は月夜に光り輝く』 概要

【書名】君は月夜に光り輝く
【著者】佐野徹夜 【イラスト】 loundraw
【定価】 本体630円＋税 【発売日】 2017年2月25日
【ページ数】 324ページ 【ISBN】 978-4-04-892675-1
【レーベル】 メディアワークス文庫 【発行】 株式会社KADOKAWA
【内容】

大切な人の死から、どこかなげやりに生きてる僕。高校生になった僕のクラスには、「発光病」で入院したままの少女がいた。月の光を浴びると体が淡く光ることからそう呼ばれ、死期が近づくとその光は強くなるらしい。彼女の名前は、渡良瀬まみず。余命わずかな彼女に、死ぬまでにしたいことがあると知り……「それ、僕に手伝わせてくれないかな?」「本当に?」この約束から、止まっていた僕の時間がふたたび動きはじめた——。



↑ 『君は月夜に光り輝く』表紙

● 『君は月夜に光り輝く』特設サイト: <http://mwbunko.com/special/kimitsuki/>

映画『君は月夜に光り輝く』

【出演】 永野芽郁 北村匠海
甲斐翔真 松本穂香 今田美桜 / 優香 生田智子 長谷川京子 及川光博

【監督・脚本】 月川翔
(『君の膵臓をたべたい』 『センセイ君主』 ほか)

【公式サイト】 <https://kimitsuki.jp/>

3月15日(金)全国東宝系劇場にて公開

©2019「君は月夜に光り輝く」製作委員会



■画集『夜明けより前の君へ』概要

- 【書名】夜明けより前の君へ featuring 君は月夜に光り輝く
【著者】loundraw
【仕様】A4判並製 オールカラー112ページ
【定価】本体2,700円＋税
【ISBN】978-4-04-912463-7
【書店発売日】2019年2月28日(木)
【発行】株式会社KADOKAWA
【内容】・メディアワークス文庫『君は月夜に光り輝く』
原作者・佐野徹夜 & loundraw クロストーク
・loundraw 活動録全記録(2017年後半から最新までを一挙更新)
・月川監督 × loundraw 対談



■コミックス『君は月夜に光り輝く (上)』概要

- 【書名】君は月夜に光り輝く (上)
【著者】マツセダイチ
【原作】佐野徹夜 【キャラクターデザイン】loundraw
【定価】本体650円＋税
【ISBN】978-4-04-065155-2
【書店発売日】2019年2月22日(金)
【レーベル】MFC
【発行】株式会社KADOKAWA
【内容】卓也は「発光病」で入院するクラスメイト、渡良瀬まみずと出会う。
彼女には死ぬまでにしたいことがある——。
原作小説の感動を、マンガ家・マツセダイチが完全コミカライズ！



<ご参考>

■「メディアワークス文庫」とは

2009年12月創刊の文芸エンターテインメントレーベル。恋愛、ミステリー、青春など、さまざまなジャンルの小説を刊行しています。メディアワークス文庫からは、シリーズ累計680万部を突破し、実写映画が公開され、アニメでの映画化も決定している『ビブリア古書堂の事件手帖』(著／三上 延)のほか、『神様の御用人』(著／浅葉なつ、シリーズ累計150万部)、『0能者ミナト』(著／葉山 透、同60万部)、『オーダーは探偵に』シリーズ(著／近江泉美、同45万部)、『お待ちしてます 下町和菓子 栗丸堂』(著／似鳥航一、同37万部)、『絶対城先輩の妖怪学講座』(著／峰守ひろかず、同28万部)などのヒット作品が生まれています。また、『探偵・日暮旅人』シリーズ(著／山口幸三郎、同85万部)が連続TVドラマ化、『ちょっと今から仕事やめてくる』(著／北川恵海、同70万部)が映画化されたほか、『博多豚骨ラーメンズ』(著／木崎ちあき、同35万部)がTVアニメ化されました。現在活躍中の人気作家の多くは、小説・イラスト・コミックの新人登竜門「電撃大賞」より誕生しています。メディアワークス文庫は、実写映像化、コミカライズなどさまざまなメディアミックス展開を行っており、幅広い層の方々に楽しまれております。毎月25日発売。

- 「メディアワークス文庫」公式サイト：<http://mwbunko.com/>
- 「メディアワークス文庫」公式Twitter：<https://twitter.com/mwbunko>

以上

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ先】
株式会社KADOKAWA
E-mail：amw-pr@ml.kadokawa.jp